

研究のまとめ

今年度は、開校 40 周年の年にあたり、地域の方々の協力を得ながら児童も周年行事に参加した 1 年だった。この機会に改めて、児童と地域とのかかわりを見つめ直し、学習指導を改善していくことで、地域を大切にし、より地域に主体的にかかわっていく児童を育むことを研究のねらいとして授業実践を通して進めてきた。

今年度の研究の成果ならびに課題として、以下のことが挙げられた。

《成 果》

- 地域人材を積極的に活用した学習活動を展開したことにより、児童と地域の方々とのかかわりが広がった。
- 体験活動を重視することにより、児童の興味・関心が高まり、目的をもった、主体的な学習活動を展開できるようになってきた。
- 児童が地域を身近に意識するようになった。また、地域のよさを改めて感じ取ることができた。

〈課 題〉

- ◇ 学習活動に取り入れられる地域の学習材をさらに見つけ、開発していく必要がある。
- ◇ 学習を今後も継続して展開していくために、より一層、地域の方々、保護者の協力を得ていく。
- ◇ 児童の活動の様子や成果をどのように地域に発信していくか、その具体的方策を検討していく。

このような成果・課題を踏まえ、本研究主題、目指す児童像に一步でも迫れるよう、今後も、研究、実践を重ねていく。